

3類型	鈹工業品	通巻番号	3-28-280
地域資源名	和紙(市川和紙、西嶋和紙)	認定日	平成28年10月14日
地域	山梨県西八代郡市川三郷町	所管省庁	経済産業省

事業名:市川和紙によるデザイン性・発色性を活かした新たな卷子本の開発と販売

会社名:三和製紙株式会社
(法人番号8090001011988)

所在地:山梨県西八代郡市川三郷町
市川大門1413

連絡先:TEL:055-272-1847
FAX:055-272-1844

協力者:山梨県工業技術センター

所在地:山梨県甲府市大津町2094

事業概要(地域産業資源の活用)

地域産業資源である市川和紙をはじめとして和紙には、その質感、地合い、風合いなどに特徴がある。さらに当社の和紙は、発色の良さや厚手で丈夫などの特徴がある。本事業では、市川和紙さらに当社の和紙の特徴を活かした伝統ある巻物形態の卷子本を、素材、デザイン、使い方の提案などの点で現代における新たなメディアとなる商品として確立すべく、卷子本・白無地、卷子本・自費出版用の開発を行い、新規事業の成功を目指すとともに、市川和紙のブランド化を図る。



【卷子本・白無地】

新たな需要の開拓の見通し(市場性、販路、商品の特性)

◆市場性

卷子本・白無地は、日本の伝統文化、和文具、和雑貨に興味のある日本人や外国人を主要顧客として想定しており、事前アンケートでは、絵手紙、御朱印帳、写経用、卒業記念、子どもの成長記録などの用途に使うために購入したいと多数回答があり、十分に市場性があると想定される。

卷子本・自費出版用は、自費出版希望者を主要顧客として想定しており、冊子本では対応困難な少ない文章量の自分史や句集、絵巻物などへのニーズがあり、十分に市場性があると想定される。



【外装千代紙の卷子本】

◆需要の開拓の方針

卷子本・白無地は、様々な使用例を考案し、店頭やホームページ上で動画等を活用しながら紹介、ユーザから使用例を募集しホームページ上に掲載など、顧客に使い方を提案することによって需要を開拓していく。

卷子本・自費出版用は、まずは本事業で連携する山梨日日新聞社が行っている自費出版サービスの1つのメニューとして販売していく。



【卷子本・桐箱入り】

◆商品の特性

巻物である卷子本は冊子本と比較して連続性、一覽性に強みがある。また、千代紙や印伝などの装丁を施すとともに、巻物が自立するような心棒とすることでインテリアとしても有用なものとする。

地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

協力者である山梨県工業技術センターと素材や形状、デザイン、使い方等の点で共同で研究・開発を行い、山日YBSグループの山梨日日新聞社、株式会社デジタルデビジョン、株式会社サンニチ印刷とコンテンツ開発や販売について連携するとともに、ふるさと名物応援宣言をしている市川三郷町、さらに市川三郷町商工会、山梨県商工会連合会、山梨県、やまなし産業支援機構、山梨中央銀行、山梨大学他県内大学と連携して事業を実施することで、市川和紙のブランド化を図る。